

今後の幼児施設のあり方についての 方針を公表します

●問合せ先 保育所・幼稚園課 保育支援係 ☎ 72・6666

私が昨年5月に市長に就任した際、三国幼稚園を休園し、小郡幼稚園と統合する方針が示されていました。この方針には、統合により、小郡幼稚園で3年保育と預かり保育というサービスの拡大を図るという内容が含まれており、これについては、多くの市民が望むところと判断し、実現すべきと判断しました。

一方で、三国幼稚園は事実上の閉園であり、このことについては、地域住民と市との合意形成に課題があると考えました。そこで、三国地区は子育て支援のニーズが高く、幼稚園を希望する保護者も多いことから、幼稚園機能を残すのが妥当と考え、市民との対話を重ね、また関係者との協議を進めてきました。

そうした中、昨年10月の衆議院選挙の際に、幼児教育と幼児保育の無償化が打ち出されました。私は、こ

の政策は小郡市の待機児童問題をさらに深刻化させるのではないかと考え、今年の5月に、5歳以下の就学前のお子さんのいる全世帯を対象にアンケートを実施しました。その結果は、予想を超え、幼児施設を新たに利用される世帯が急増し、また、三国地区では、幼稚園または認定こども園の利用希望が多いことも見えてきました。

その後、このアンケート結果をもとに、今年の9月末から10月にかけて中学校区で開催した「市民と市長の対話集会」で報告し、今後の幼児施設のあり方等について、市民の皆さんからご意見などをいただき、これらを踏まえて、「今後の幼児施設のあり方についての方針」を決定しました。

小郡市長 加地良光

今後の幼児施設のあり方についての方針

(1) 認可保育所の「待機児童0」を目指して、既存の私立保育所の理解と協力を得て、施設の更新・増築・改築に対する積極的な助成を行い、合わせて保育士確保を推進し、認可保育所の定員増を目指します。

(2) さらに、急増が予想される0歳児から2歳児の待機児童対策として、幼稚園で預かるサービスの提供方法についても調査・研究し、有効なサービスの提供をはかります。

小郡幼稚園で保育所機能を付加することについては、来年度の募集状況や新サービスの運営状況、今後の認可保育所の待機児童の状況を踏まえ、再来年度以降の適切な時期に判断します。



(3) 事実上の廃園が予定されていた三国幼稚園のあり方については、子育て中の保護者や地域の皆さんの声、またアンケートの結果などから、公立の幼稚園機能と保育所機能を備えた幼児施設の要望が強いことを踏まえ、認定こども園を含む幼稚園機能と保育所機能を有する幼児施設のあり方を検討し、多方面からご指摘を受けている財政的な負担も考慮しながら、有効な施設のあり方をまとめ、来年度から準備に着手します。

(4) 公立の幼児施設の役割として従来から取り組んできた、発達等で配慮を要する就学前児童への対応については、先進事例等を調査・研究し、関係機関とも連携を取りながら、その対応策を講じます。

(5) その他、小郡市内での子育てで求められる多様なニーズに応えていくために、私立の幼児施設誘致についても、積極的に検討していきます。



アンケート結果をお知らせします

幼児教育・保育の無償化が、待機児童の問題や幼児施設の利用などについてどう影響するかを把握するため、対象全世帯にアンケート調査を行いました。

その結果、「①保護者の就労形態に影響する」「②幼児施設の利用希望者が増加する」「③待機児童の大半を占める0～2歳児の利用希望がさらに増加する」という結果が得られました。

時期 5月末～6月初旬

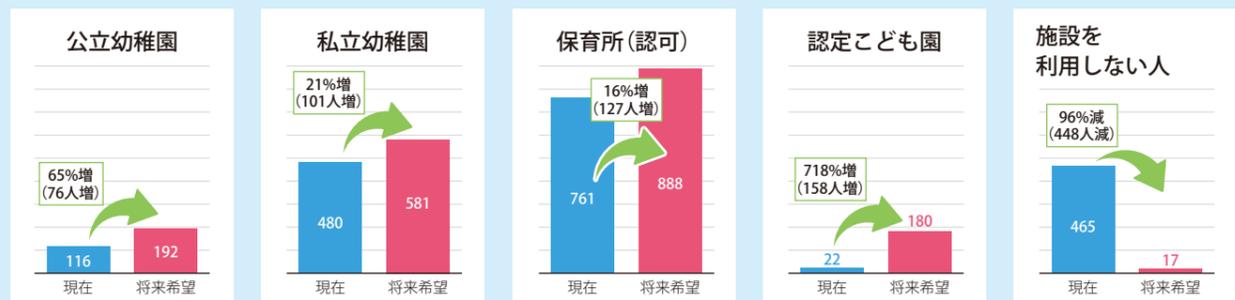
対象 0～5歳児の保護者世帯2,167件

回収率 64.0% (1,386件、対象となる子どもの数1,942人)

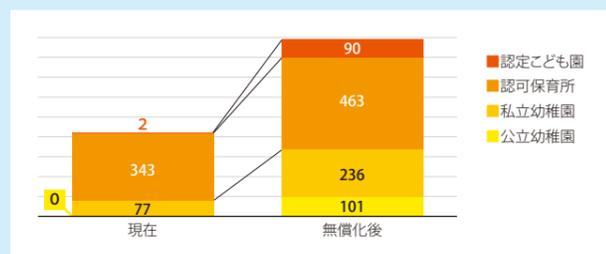
②現在、どの施設を利用していますか。

また、幼児教育・保育が無償化したら、どの施設を利用したいですか。

施設の利用希望者が増加！



③上記②のうち、0～2歳児に着目すると…



住民税非課税世帯しか無償にならない0歳～2歳児までも利用希望が拡大！



詳しいアンケート結果は市ホームページに掲載しています(ホーム>子育て・教育>子育て支援>幼児施設のあり方の検討)

①現在、どのような働き方をしていますか。

また、幼児教育・保育が無償化したら、どのような働き方を希望しますか。

保護者の就労を促す効果あり！

	現在	無償化後			
		フルタイム	パート	就労予定なし	無回答
働いている(フルタイム)	614人	546人	66人	0人	2人
働いている(パート)	565人	75人	488人	2人	0人
働いていない	731人	63人	381人	284人	3人